

JRは1047名解雇の責任をとれ! 今こそ国鉄分割・民営化一新自由主義に断を

国鉄1047名解雇撤回闘争の前進—JRを 「裁判当事者」として17年ぶりに闘いの土俵に

国鉄1047名解雇撤回闘争で、大きな前進が
かちとられています。

9月2日、東京地裁は
JR東日本の訴訟参加の
決定を出しました。JR
東を17年ぶりに裁判当該

として闘いの場に引きず
り出したのです。

国鉄分割・民営化は、

今の新自由主義攻撃の出
発点でした。11月集会運
動も「国鉄解雇の責任は
JRにない」とする反動

判決への危機

感の中から出
発しました。

この分割・

民営化攻撃に
労働者の側か
ら決着をつ
け、新自由主
義を終わらせ
る闘いの展望
が切り開かれ
ています。

．．．
．．．
．．．

動労千葉・
動労総連合の

闘いは、国鉄分割・民営
化の隠された真実をすべ
て暴きました。

動労千葉組合員を含め
全員が直前まで採用名簿
に掲載されていたこと。
動労千葉など国鉄分割・
民営化に反対する組合員

をJR採用から排除する
不当な目的で、名簿不記
載基準が作られたこと。

それを指示したのが齋藤
JR設立委員長であり、
直接名簿の排除を行った
のが葛西敬之JR東海名
誉会長、深澤JR東日本
社長らであったこと。

すでに名簿不記載基準
の作成が不当労働行為で
あることは最高裁で確定
しました。JR自身の不
当労働行為で1047名

が解雇されたのです。結
論は「解雇撤回・JR復
帰」以外にありません。

このことを問う裁判か
らJR東は「当事者では
ない」「無関係だ」と逃
げ回ってきました。その
JRをついに闘いの場に
引きずり出したのです。
闘いは「勝利まであと一
歩」です。

9月29日の裁判でJR
は出廷を拒否しました。
しかし、「裁判当該」で
あることを動かすことは
できません。JRを法廷
に引きずり出し、裁判所
に審理を尽くさせ、すべ
ての真実を明らかにさせ
なければなりません。

そのためにも「解雇撤
回・JR復帰・団交開催」
署名運動を拡げ、11・7
集会への結集を呼びかけ
よう。

